

学校だより 令和6年度第九号（通巻四九一号）

トンボ口



自主・気魄・根性

発行
令和7年1月22日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
TEL 09969-3-2002
責任者
校長 加藤 晃一

「新年を迎えて」

新たな年を迎えました。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は、本校の教育活動や環境整備等、ご理解とたくさんのご協力を頂き、感謝申し上げます。

今年の干支は、巳（へび）。巳年は、再生と変革の象徴とされています。蛇が脱皮を繰り返して成長していくように、巳年は、古い価値観や習慣を手放し、新しい自分に生まれ変わるチャンスのある年とも言われているようです。過去には、冷戦の象徴であったベルリンの壁崩壊（一九八九年）やアメリカでの同時多発テロ（二〇〇一年）も巳年に起こりました。当時の大きな衝撃とともに、その後の世界情勢に大きな影響や変革を与えました。二〇二五年の今年も、日本では、大阪・関西万博や世界陸上東京大会など大きな催しが予定されています。大阪・関西万博では、各国のパビリオンで近未来の世界が紹介されることとされています。世界陸上では、世界のトップアスリートの活躍とともに新たな記録が生まれるかもしれません。ここ甑島では、鹿島の甑ミュージアムがリニューアルオープンします。甑ミュージアムのご協力を頂きながら、里中学校の生徒たちが古代のロマンに触れる機会を増やしていきたいと思ひます。

さて、里中学校では、一月八日に始業式を行い、三学期が始まりました。転入生を迎え、二〇二五年は、全校生徒38人、職員15人でのスタートとなりました。始業式では、生徒たちに次のようなお願いをしました。

三学期は、一年間の締めくくりと次年度への準備の学期です。そこで、各学年のみなさんにお願ひします。

一年生は、「先輩」としての立ち振る舞いができるよう準備をしてください。四月に入学してくる新入生の模範となるよう、勉強・学校生活・身なり・あいさつなど、これまでの教えられる立場から、教える立場になることを自覚してほしいと思ひます。

二年生は、最上級生としての自覚と行動力を身に付けてください。自分が一番苦勞して、人のために働く姿が人を惹きつけます。すでに新生徒会では、リーダーシップを発揮し、里中学校を引っ張ってくれています。その力で新しい里中を創ってほしいと思ひます。

三年生は、いよいよ進路希望を実現する時です。そのために、最善の努力をしてください。先生方をはじめ、みなさんの周りにいる人達の力をどんどん借りてください。と、同時に「卒業」、「島立ち」を迎える日まで、里中学校の最上級生としての姿を後輩たちに見せてほしいと思ひます。

各学級では、今年一年それぞれが大きく成長できるよう、新年を迎えるにあたって、目標を立てたり、抱負を漢字一文字で表したりしました。本年も里中学校をどうぞ、よろしくお願ひいたします。

校長 加藤 晃一

お薦めの一冊 中野さおり先生



窓際のトットちゃん

黒柳徹子

小さいころ、母が寝る前に毎晩少しずつ読み聞かせをしてくれた本です。トットちゃんと共感できることが多かった私は、すぐにこの本の虜となりました。自分の特性とうまく付き合える環境や考え方ができると自分の得意な道でだれよりも人生を楽しむことができるということを教えてくれた一冊です。

2学期学校評価について

12月にご協力いただきました「学校評価アンケート」の結果の概要をお知らせいたします。記述いただいたご意見を含め、職員全体で熟議し、引き続き改善を図って参ります。（4.0満点）

【生徒】

○学校生活に満足していますか。3.7

○授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていますか。3.7

▲授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていますか。2.8

▲あなたは、家庭学習の目標時間（1年100分、2年110分、3年120分）達成のため、計画を立てて取り組みましたか。2.8

【保護者】

○学校は、定期検診結果の通知や保健だより等で、生涯にわたった健康づくりに関する取組がなされていますか。3.2

○お子さんは、学校行事や生徒会活動、専門部活動にやる気をもって取り組んでいますか。3.1

▲ご家庭では、お子さんが決めたメディアコントロールに取り組めましたか。2.4

▲お子さんは、家庭学習の目標時間（1年生100分、2年生110分、3年生120分）達成していますか。2.7

【教職員】

○アレルギー対応や衛生管理、危機管理マニュアルを含む給食指導及び食育教育のよりよい推進に努めているか。3.6

○学校は、いかなる信用失墜行為も発生しないように、同僚性を高めた服務規律の厳正確保に取り組んでいるか。3.8

▲学校では、学年や生徒の実態に応じた計画的・系統的なキャリア教育の充実が図られているか。2.8

▲あなたは、小中一貫教育の意義を理解し、主体的・計画的に取り組んでいるか。2.9

しんどい時に心と体を守る～人権教室

子供を取り巻く環境が大きく変化する中で、困ったことがあっても「助けて」が言えない、SOSが出せない子供が多く存在することから、本校でも、12月11日に本校スクールカウンセラーの松尾治子先生による「しんどい時に、心と体を守る方法」というテーマで講演をしていただきました。

授業後、生徒の感想から、「これからは自分の心にも耳を傾けて、心と体の健康を守りたい。」「怒り」も含めた自分の感情を大切に、つらい時は抱え込まずに、誰かに話すこと、また、友達の変化に気付けるようになりたい。」と気付きがありました。



島立ちを前に～性の在り方を考える

1月9日（木）、甑島振興局保健師の山元万喜さんをお招きし、3年生を対象にした「思春期教室」を行いました。異性との適切なつきあい方、妊娠出産、性感染症、デートDVなどのお話を専門的な立場から教えていただきました。授業を通して、お互いの心を大切にすること、自分一人では解決できないことも多く、相談できる人の必要性や相談場所もあることができました。多くの3年生の保護者も参加しました。



高校生活はどんな感じ？高校生へのアンケートより

中学生が高校生の様子を知るために、卒業生にアンケートを依頼したところ11名の卒業生から回答がありました。それを見ると、高校では中学校にない楽しみがある、勉強や部活動で中学校以上に忙しいとありました。また、島立ちもあるので、家庭や仲間との絆をしっかりとつづけてほしいとありました。裏面に掲載しますので、将来のことを考える参考にしてください。協力してくださった卒業生の皆さん、ありがとうございました！

冬来たりならば春遠からじ～56日間の3学期始まる

北西の季節風が吹き荒れ、厳しい寒さが続いています。そのような中にも、鉢の中のパンジーが寒さに耐えながら花を咲かせている姿があり、心を和ませてくれます。

さて、1月8日に始業式が行われ、各学年代表の生徒が冬休みの思い出と決意を述べましたので紹介します。「高校生の兄が帰郷し、家族で年越しそばを食べながら、高校生活の話をした。」「3学期は、スマホ使用時間を制限し、テスト期間以外でも勉強の時間を増やす。」「島立ちも近づいてきているので、1日1日を大切に過ごし、友達や家族との時間を大切に過ごし、後悔しない3学期にしたい。」と各々が力強く述べました。加藤校長は、各学年ごとにあるべき姿を語り、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

冒頭に掲げた「冬来たりならば春遠からじ」という諺は、「つらい時間を乗り越えれば、やがて楽しい時期がやってくる。」という意味があります。特に、3年生は、この諺を胸にもうひと踏ん張りしてください。

いよいよ年度末を迎え、寒さも一段と厳しさを増しますが、健康に十分留意して、冬の大地にしっかりと根を張る草木のように、自分の足場を固め、新しい学年を迎える準備をしましょう。



市青少年フレッシュ体験事業に参加

本市出身の有島家の学習と北海道の自然を体感しながら、ニセコ町の少年たちと交流を図る事業に12月25日から4日間の日程で、1年生の塩田瑞歩さんが団員として参加しました。参加した瑞歩さんは、「有島兄弟の足跡からニセコ町と本市の絆の強さや厳しい自然の中でたくましく生きるニセコ町の人々の様子を知るなど有意義な体験になりました。」と感想を述べていました。



2月の行事

5日（水）テスト前部活動停止期間（～13日）
12日（水）学年末テスト（～14日）
18日（火）夢の100字作文
20日（木）1・2年学年PTA